

## 募集要項

- 《募集人数》 25名（横浜市内にて乳がん診療に携わっている看護師の方）  
※受講にあたっては原則、すべてのプログラムへの参加が必要です。
- 《参加費》 無料
- 《申込締切》 2021年6月30日（水）
- 《申込方法》 以下のホームページから、申込専用ページにアクセスしてお申し込みください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/iryo/gan/taisaku/nyugan.html>

※応募者が募集人数を超えた場合、これらの記入事項を参考に受講者の選考を行いますので、記入漏れのないようご注意ください。

- 《受講可否》 応募者全員にEメールで連絡します（7月中旬予定）。  
お申し込みの際にご記入いただいたアドレス宛にお送りしますので、携帯電話メールの場合は受信設定（ドメイン設定の変更）をお願いいたします。
- 《認定》 すべてのプログラムを修了された方には、横浜市医療局から認定証とバッジを授与します。

## 会場

ビデオ視聴・Zoomによるライブ配信

最終日（2021年10月17日（日））のみ横浜市庁舎18階（〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10）

※新型コロナウイルス感染状況により、ライブ配信となる可能性があります。



# Patient Navigator

## 養成講座

### 【主催】

横浜市乳がん連携病院

横浜市立大学附属病院  
横浜市立大学附属市民総合医療センター  
横浜みなと赤十字病院  
横浜労災病院  
横浜市立市民病院

横浜市医療局

### 【問合せ】

Patient Navigator 事務局（横浜市医療局）

電話：045-671-2721

Eメール：ir-event@city.yokohama.jp

## はじめに

日本における乳がん罹患数は 85,000 人/年を超え、女性で最も多いがんです。女性、若年発症、さまざまなタイプ、遺伝の関連などの多くの特徴があり、整容性、妊孕性、遺伝性、就労、不安や意思決定など、様々な支援が必要となります。また、根治が望めない乳がんでは、患者の皆様へ寄り添い、その人らしい生き方を支援する医療者の存在が不可欠となっています。

## 目的

患者の皆様へ寄り添い、自ら、または、他職種との連携をして必要な支援を提供できる人材を育成し、横浜市における乳がん診療の質を向上させることを目的とします。なお、育成にあたっては高度な専門技術ではなく、すぐに役立つ実践的スキルを身に着けることを主眼におくこととしています。

## Patient Navigator とは

社会的役割の多い世代に発症する乳がんでは、最善の治療を行う上で、多くのサポートを必要とします。Patient Navigator とは、患者の皆様へ寄り添い、意思決定の支援をしたり、様々なサポートの提供につなげる人材のことを言います。

日本には、乳がん認定看護師認定制度という制度がありますが、本講習では、日常診療で、明日から役に立つ実践的内容のみにフォーカスし、横浜市において、より多くの看護師さんが、日常的に乳がん患者の皆様をサポートする一助になるようプログラムを作成しています。

## プログラム

ビデオ学習①～②と 4 日間（Day1～4）の講義日程として行います。

ビデオ学習と Day1～Day2 は臨床の流れに即してテーマ設定された講義を用意しています。

Day3 のケーススタディと Day4 の発表・質疑応答により、講義で学んだ内容を深めていただく構成としています。

## プログラム予定

（以下、講義・ケーススタディの予定です。今後変更となる可能性があります。）

### ビデオ学習①：配信期間 2021 年 8 月 10 日（火）～2021 年 8 月 23 日（月）

※配信期間中ご都合のよい時間に視聴してください。（計約 140 分）

プログラム内容	講師（敬称略）
Patient Navigator 育成プログラムについて	清水 大輔（横浜市立みなと赤十字病院プレストセンター長）
局所治療総論	吉田 達也（横浜市立大学附属病院乳腺・甲状腺外科助教）
全身治療総論	山田 顕光（横浜市立大学附属病院乳腺外科助教）
乳がん検診	俵矢 香苗（横浜栄共済病院乳腺甲状腺外科部長）

### Day1：2021 年 9 月 11 日（土）（早期乳がん総論・各論）13:00～17:40（Zoom でのライブ配信）

プログラム内容	講師（敬称略）
乳がん治療における看護師の役割	大花 裕美（横浜労災病院看護部がん看護専門看護師）
看護師による情報収集（必要な点とタイミング）	蜂巣 志乃（横浜市立大学附属病院看護部乳がん看護認定看護師）
意思決定支援（術式・再建・化学療法）	松尾 典子（東海大学医学部付属病院看護部乳がん看護認定看護師）
カウンセリングスキルと心理サポート	塚野 佳世子（横浜労災病院心療内科心理判定員）
医療保険制度（高額療養費と就労支援）	亀山 友美（横浜市立みなと赤十字病院がん相談支援センター社会福祉士）
放射線治療における看護	吉田 信子（横浜市立みなと赤十字病院がん放射線療法看護認定看護師）
薬物療法に対するケア	縄田 修一（昭和大学病院薬剤部病院薬剤学講座准教授）
アピアランスケア（手術・化学療法）	鈴木 明葉（済生会横浜市東部病院看護部乳がん看護認定看護師）

### ビデオ学習②：2021 年 9 月 13 日（月）～2021 年 9 月 24 日（金）

※配信期間中ご都合のよい時間に視聴してください。（計約 110 分）

プログラム内容	講師（敬称略）
再発進行乳がん総論	清水 大輔（横浜市立みなと赤十字病院プレストセンター長）
疼痛緩和治療（薬物療法・放射線治療）	馬渡 弘典（横浜南共済病院緩和支援療法科医長）
横浜市の政策	（横浜市医療局）

### Day2：2021 年 9 月 25 日（土）（早期乳がん各論・再発乳がん）13:00～17:30（Zoom でのライブ配信）

プログラム内容	講師（敬称略）
病棟における術前術後ケア	東谷 由美香（横浜市病院協会看護専門学校乳がん看護認定看護師）
術後リハビリとリンパ浮腫	芹澤 健輔（横浜市立みなと赤十字病院リハビリテーション部作業療法士）
家族・子供への伝え方	井上 絵未（済生会横浜市東部病院小児科チャイルド・ライフ・スペシャリスト）
遺伝性乳がんへの対応	浜之上 はるか（横浜市立大学附属病院遺伝子診療科講師）
Advanced Care Planning	瀬戸 牧子（北里大学病院看護部乳がん看護認定看護師）
妊孕性温存への対応	村瀬 真理子（横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター担当部長）
療養を支える社会制度（介護保険の実際）	友田 安政（横浜市立大学附属病院地域連携課福祉相談担当係長）
end of life care（病棟と外来と地域医療の連携）	瀬畑 善子（神奈川県立がんセンター看護部乳がん看護認定看護師）

### Day3：2021 年 10 月 16 日（土）（Case Study）13:00～17:05（Zoom でのライブ配信）

### Day4：2021 年 10 月 17 日（日）（グループ発表）13:00～16:05（横浜市庁舎での集合形式）

乳がん患者さんへの介入をテーマに、3 題程度のケーススタディを想定しています。